

## 第2学年 社会科学習指導案

日時 平成23年10月28日(金) 6校時

生徒 2年2組 男22名 女17名 計39名

指導者 桑島秀則(北松園中学校)

中学校学習指導要領

「(4) 近世の日本」

「エ 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府政治の改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が行き詰まりをみせたことを理解させる。」

〈この単元で身につけたい力〉

- ・歴史的事象を調べ、因果関係やその後に与えた影響などを考える力
- ・百姓一揆をおこした理由を当時の政治的・経済的背景や自然災害などと結びつけながら多面的、多角的に調べようとする力
- ・絵図や文献、統計などの資料を目的に応じて的確に活用する力

### 1 単元名 第4章 近世の日本と世界 第3節 産業の発達と政治の動揺

教材名 直訴する農民(三閉伊一揆)

### 2 生徒と単元について

#### (1) 教材について

本単元は、我が国における近世社会が変化していく過程を学習するものである。本単元で取り扱う江戸時代中期から後期にかけては、生活の向上を願う人々の工夫や努力の結果、農林水産業を中心とする産業がめざましく発展し、あわせて、商品の流通拡大のもとで、商工業や交通も発展していった時代である。都市の発展を背景に町人を担い手とする元禄文化や化政文化が生まれ、新しい学問や思想、文学・美術などが誕生した。また、これらの文化は、地方へも広がりを見せ、各地に藩校や寺子屋などが作られていった。その反面、貨幣経済の広がりや天災・凶作などによる農民間の貧富の差の拡大や、年貢収入を主とする幕府財政がこれらの要因で悪化していく。幕府や藩は政治改革を試みるも十分な成果を上げられず、逆に幕府や藩など支配階級である武士の非力さを示す結果にもつながっていった。このような時代を背景として農村では百姓一揆が、都市では打ちこわしが頻発し、被支配階級である庶民の力が強まっていった時代であるといえる。

#### (2) 生徒について

2年2組は、男子22名、女子17名、計39名の学級である。学級の雰囲気は良く、元気もあり、授業も行いやすい。教師の発問に対する反応も社会科好きの生徒を中心に良好だが、自由に意見を言い合える部分と考えさせる部分、静かに取り組ませる部分のメリハリと生徒への見通しを付けさせる必要がある。

1学期に取った生徒へのアンケートによると歴史の学習が好きであると答えた生徒が半数以上あり、きらいと答えた生徒を大幅に上回っており、歴史に対する苦手意識は少ないと思われる。しかし、織田信長や豊臣秀吉、徳川家康などが活躍した時代やペリーの登場に始まり、坂本龍馬や新撰組が活躍した幕末の時代とは異なり、この時代への印象は決して強いとはいえず、わずかに小学校で学習した杉田玄白などの文化人の名前を記憶している程度であると考えられる。

#### (3) 指導に当たって

本単元は、小学校学習指導要領社会6年の内容(1)カ「歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること」の学習を受けての単元である。小学校では、歌舞伎、浮世絵、国学、蘭学を中心に具体的に調べる活動を通して、町人文化や新しい学問について学習している。また、その際に新しい時代への動きとして大ききん、百姓一揆や打ちこわしなども合わせて学習しており、副読本の「あたらしいきょうど岩手」には、ききんの悲惨

さと共に三閉伊一揆についての記述も見られるが、幕府や藩に社会問題を解決する力がなくなってきたことまでは、理解していないと考えられる。そこで、中学校の学習では、さらに踏み込んで、貨幣経済に広がりにより農村に貧富の差が拡大したこと、自然災害と幕府や藩の財政の悪化などの背景まで理解させながら当時の庶民の生活を深く追究させたい。

指導にあたっては、考える力を高め、言語活動を育成するために、本単元では、小グループによる調べ学習や話し合い活動を取り入れ、生徒同士が学び合うことで、考える力や表現する力を育てていきたい。「三閉伊一揆の要求項目やその結果」について話し合うことで、政治や社会、経済の変化や様々な身分の人々の思いなどを多面的・多角的につかめるよう指導していきたい。

### 3 単元の目標

(1) 経済の発達と都市の繁栄，町人文化や各地方の生活文化，政治の行き詰まりとくり返される政治改革，新しい学問や思想などに対する関心を高め，意欲的に追究しようとする。

【社会事象への関心・意欲・態度】

(2) 経済の発達と都市の繁栄，町人文化や各地方の生活文化，政治の行き詰まりとくり返される政治改革，新しい学問や思想について多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現しようとする。

【社会的な思考・判断・表現】

(3) 経済の発達と都市の繁栄，町人文化や各地方の生活文化，政治の行き詰まりとくり返される政治改革，新しい学問や思想に関する資料を活用し，読みとったり図表にまとめたりする。

【資料活用の技能】

(4) くり返される政治改革の内容や，町人文化が都市を中心に形成されたこと，各地方に生活文化が生まれたことを理解する。

【社会的事象についての知識・理解】

### 4 学習指導計画及び評価規準

過程	学習内容と 主な学習活動	評価規準(評価の方法)				単位時間における言語活動を通して考える力を育てる活動
		社会事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の 技 能	社会的事象につ いての知識・理解	
第一 次	○産業と交通の 発達 ・農業・商業の 発展 ・流通の発達 ・都市の繁栄		江戸時代に都市が発達した理由を，幕府や藩の財政政策や農業技術の進歩，物資の流通などの視点から考察している。 〈発言，プリント〉	「江戸時代の農具の進歩」の絵から，農具の役割や作業効率について調べると共に，大阪や江戸の都市のにぎわいの絵を活用し経済や都市の繁栄について調べている。 〈プリント〉		江戸時代に都市が発達した理由を，幕府や藩の財政政策や農業技術の進歩，物資の流通などと結びつけて考える活動。
第二 次	○元禄文化と民衆の暮らし ・5代将軍綱吉の政治 ・屏風絵から ・元禄文化 ・民衆の暮らしと文化	近世の生活文化の中には，歌舞伎・年中行事など現代に受け継がれている部分が多いことなどに興味をもっている 〈態度，発言〉			都市の発達を背景に町人を担い手とする元禄文化が上方を中心に生まれていったことや，その内容について理解している。 (プリント)	町人を担い手とする元禄文化が上方を中心に生まれた理由を様々な事象と関連づけて考える活動。

第三次	○百姓一揆の広まり ・生産の向上と貧富の差の拡大 ・百姓一揆と打ちこわし		貨幣経済の広まりや天災・凶作などによって、農家間の貧富の格差が拡大するなど、農村の変化について多角的に考察している。 (プリント, 発言)	百姓一揆や打ちこわしが増加した背景と原因について、「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」のグラフを活用して調べている。 (プリント)		農村の変化について、様々な事象と関連づけながら多角的に考える活動。
第四次	○くり返される改革 ・享保の改革と田沼の政治 ・寛政の改革と社会の変動 ・天保の改革		幕府による一連の政治改革を推進した人物・政策とねらい・民衆の動き・社会的な事件・改革の結果などの視点から整理して考察している。 (プリント, 発言)		幕府による享保の改革、田沼の政治、寛政の改革、天保の改革を比べそれぞれの改革の目的や手段、結果について理解している。 (プリント)	幕府による一連の政治改革を、それぞれを比較しながら整理する活動。
第五次 本時	○三閉伊一揆 ・三閉伊一揆の原因と背景 ・三閉伊一揆の要求項目と結果 ・他の一揆との比較	かつて郷土で起こった大規模な一揆があったことに関心をもち、意欲的に調べようとする。 (態度, 発言)	三閉伊一揆が近世百姓一揆の到達点といわれる理由を組織性や計画性などで優れた面があったことに気づいている。 (プリント, 発言)	三閉伊一揆が単に年貢の減免を求めだけでなく、藩の政治改革をも求める高度な民衆運動であったことを資料から読みとっている。 (プリント, 発言)		三閉伊一揆が他の一揆と比べて優れている点を、根拠を明らかにして交流する活動。
第六次	○新しい学問と化政文化 ・学問と思想の広がり ・化政文化 ・文化の地方への広がり	『解体新書』をはじめ、この時期の学問文化美術などの作品に関心を高め、化政文化の特色について意欲的に調べようとしている。 (態度, 発言)			化政期に生まれた新しい学問や思想・文化などの特色・内容・時代背景について理解している。 (プリント)	

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

- かつて郷土で大規模な一揆があったことに関心をもち、意欲的に調べようとする。

【関心・意欲・態度】

- 三閉伊一揆が近世百姓一揆の到達点といわれる理由が、組織性や計画性などで優れた面があったことに気づく。

【思考・判断・表現】

- 三閉伊一揆が単に年貢の減免を求めだけでなく、藩の政治改革をも求める高度な民衆運動であったことを資料から読みとることができる。

【技能】

(2) 具体の評価規準

	観点別評価目標	B (概ね満足できる)	C (支援の手立て)
評価 1	かつて郷土で大規模な一揆があったことに関心をもち、意欲的に調べようとする。【関心・意欲・態度】	三閉伊一揆の原因、要求項目、結果について意欲的に調べている。	三閉伊一揆について興味が持てるように具体的な絵や図等を提示する。
評価 2	三閉伊一揆が単に年貢の減免を求めただけでなく、藩の政治改革をも求める高度な民衆運動であったことを資料から読みとることができる。【技能】	三閉伊一揆が単に年貢の減免を求めただけでなく、藩の政治改革をも求める高度な民衆運動であったことを資料から読みとっている。	机間巡視し、資料の解釈や説明の表し方などを支援していく。
評価 3	三閉伊一揆が近世百姓一揆の到達点といわれる理由が、組織性や計画性などで優れた面があったことに気づく。 【思考・判断・表現】	三閉伊一揆が近世百姓一揆の到達点といわれる理由が、組織性や計画性などで優れた面があったことに気づいている。	板書等のまとめやキーワード等を参考にしながら、短文にまとめるよう支援していく。

(3) 考える力の育成のための手立て

【考える力の育成にかかわる身に付けさせたい力】

- ・自分の考えを、根拠を明らかにして説明する力

【考える力を育成するための言語活動】

- ・三閉伊一揆が他の一揆と比べて優れている点を、根拠を明らかにして交流する活動

(4) 展開

過程	学習内容・学習活動 (○発問 □指示)	時間	指導上の留意点 (・留意事項 ※評価)
導入	1 前時までの想起 ・天災、ききん ・百姓一揆 打ちこわし ・幕府の三大改革 2 本時の学習課題設定 □「三閉伊一揆の地図」を見て気づいたことを発表させる。 □発表をもとに課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">三閉伊一揆を起こした農民達は、何を要求するために仙台に向かったのだろうか。</div>	2  3	・前時までに学習した百姓一揆や幕府の改革について要点を想起させる。 ・今から160年ほど前に日本最大級の一揆が岩手県であったこと、そしてその一揆が近世一揆の到達点とか完成型とよばれている事実を伝え学習に入っていく。 ・「三閉伊一揆の地図」を見て、一揆軍の行動経路が隣藩の仙台に向かっていることに気づかせる。  ※評価1 【関心・意欲・態度】
展開	3 課題に対する予想をたてる。 ○三閉伊地方の人々は仙台に向かって何を要求したのだろうか。 ・年貢の引き下げを要求したのではないか。 ・不正をした役人の交代を要求したのではないか。 ・これらのことを仙台藩を通して南部藩にお願いしたのではないか。 4 課題の検証 (1) 三閉伊一揆の資料を読み、内容を確認する。 ○一揆の資料に書かれている内容についておおよそのあらましを知る。	5  15	・仙台領を目指したことからこれまで学習した一揆とは要求が違うことに気づかせる。 ・予想を発表させることで、多様な考え方があることに気づかせる。  ・一揆軍の出した大綱三箇条と具体的要求四九箇条を示し、要求項目を精査することで当時の生活や藩の圧政に気付かせる。 ・机間巡視し、資料の解釈や説明の表し方を支援していく。

展 開	<p>(2) 予想を検証し、課題を解決する。          □グループごとに自分たちが立てた予想について資料等を活用して調べさせる。          ○三閉伊一揆の要求項目とその結果を資料から調べ、まとめてみよう。</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白版シートには、キーワードを中心に矢印や図などを使ってわかりやすくまとめさせる。</li> <li>・白版シートに記入し、黒板に掲示するように指示する。</li> <li>・グループで話し合った内容を発表しあい、多様な考え方に気づかせる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※評価2【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に発言できる雰囲気をつくる。</li> </ul>
	<p>(3) 検証した結果を交流し合う。          ○調べた内容を発表し合おう。</p> <p>◆要求項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藩主の交代を要求</li> <li>・仙台領の領民にしてもらえるよう要求。</li> <li>・一揆の首謀者を処罰しないよう要求。</li> </ul> <p>◆一揆の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要求のほとんどを南部藩に受け入れさせた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大綱三箇条は、当時の厳しい身分制度をひっくり返すほどの要求であったことに気付かせる。</li> </ul>
	<p>○三閉伊一揆のすごいところはどこだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民衆が支配階級である武士に要求を認めさせたこと。</li> <li>・藩主の交代など政治に対する改革を要求したこと。</li> <li>・要求の先を南部藩ではなく伊達藩に求めていったこと。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士階級の弱体化は、封建制度の崩壊へとつながること、15年後には、江戸幕府が滅亡することにつなげていきたい。</li> </ul>
終 末	<p>5 学習のまとめをする。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめは、図などで示したグループのまとめを文章化し、短文にまとめるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※評価3【思考・判断・表現】</p>
	<p>6 次時の予告をする。          ○次時は江戸時代後期の文化について学習することを告げる。</p>		<p>三閉伊一揆は、重税に対する減免を求めただけでなく、藩主の交代を含む藩政改革を求めるもので、仙台藩に向かうことで、南部藩の悪政を他藩や幕府に示そうとしたものである。この一揆が民衆の成長を示すと共に、封建制度の弱体化を表した画期的な一揆といえる。</p>

(5) 板書計画

<p>一揆の様子を表す図</p>	<p>学習課題</p> <p>三閉伊一揆を起こした農民達は、何を要求するために仙台に向かったのだろう。</p>	<p>学習のまとめ</p> <p>三閉伊一揆は、重税に対する減免を求めただけでなく、.....</p>
<p>資料</p> <p>(三閉伊一揆の地図〔嘉永の一揆〕)</p>	<p>予想</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年貢の引き下げ</li><li>・不正役人の交代</li><li>・</li></ul>	<p>検証結果の交流</p>